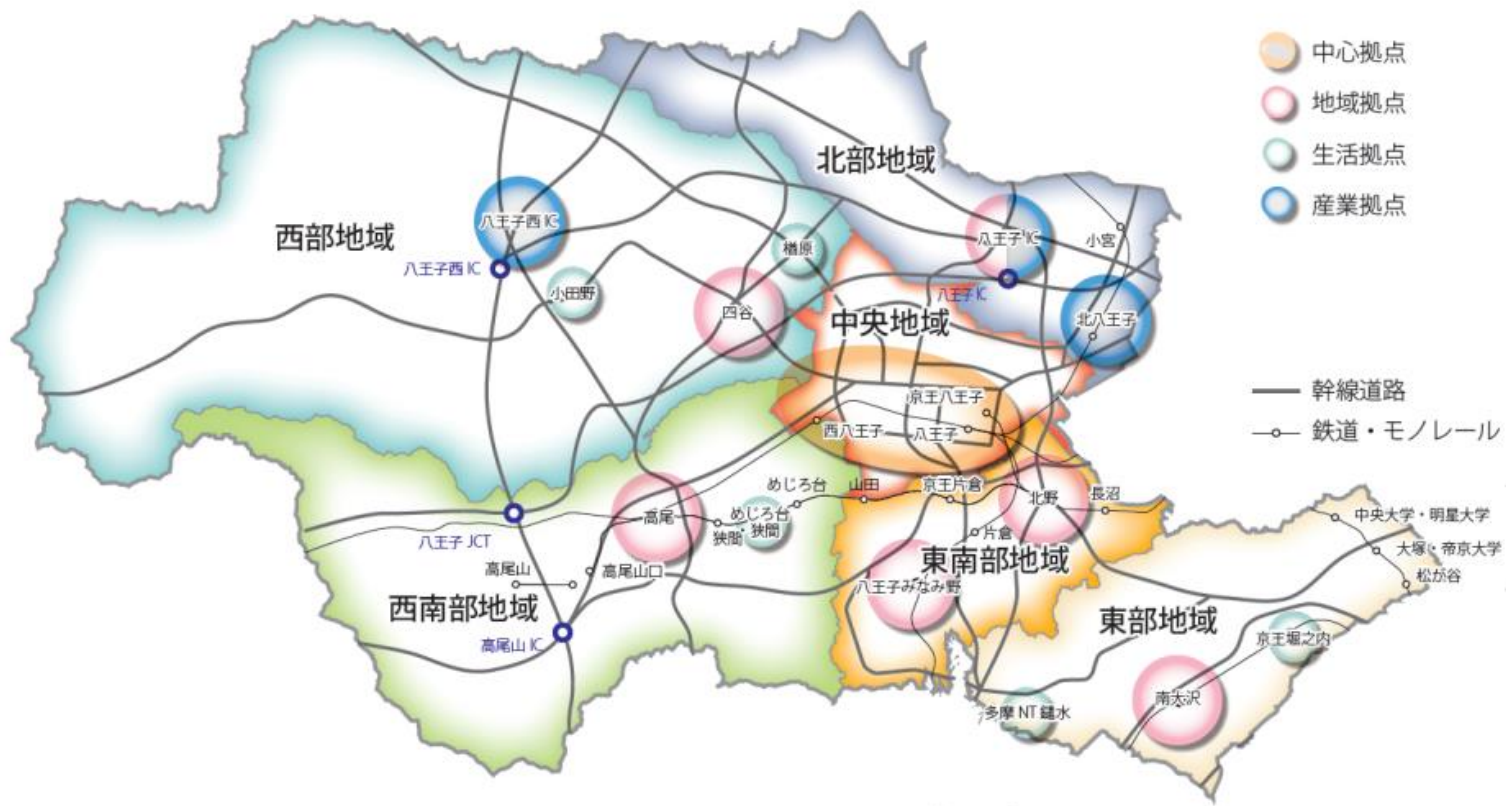


# 地域別方針について

# 地域別について

本市の基本構想・基本計画「八王子ビジョン2022」で  
6地域ごとのまちづくりを推進

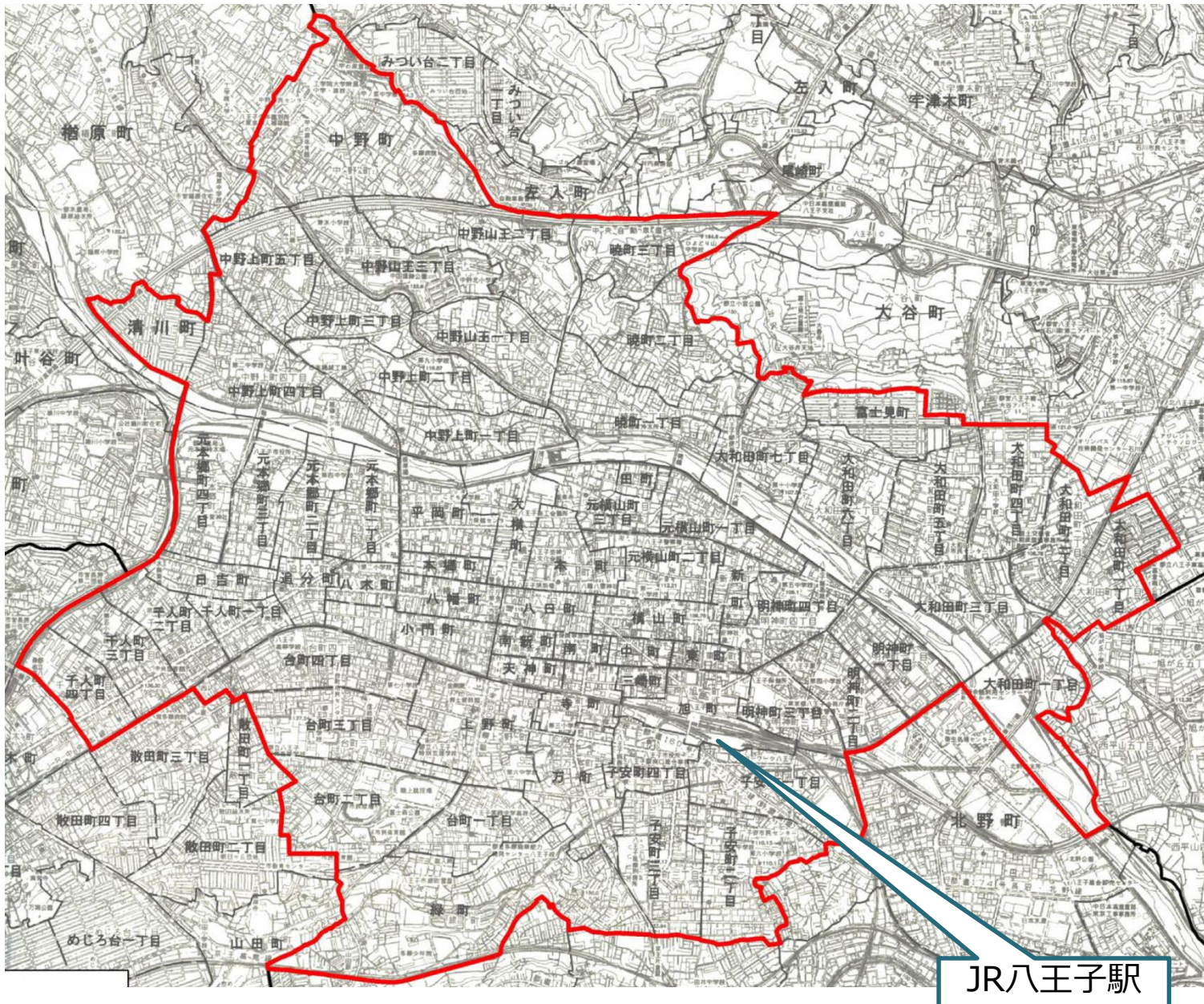
✕ 地域区分 ✕



都市づくりビジョン八王子(都市マス)



# 例) 中央地域



JR八王子駅



# 地域別方針の方向性について

- ① 6地域ごとに行動方針を策定（都市マスとの整合を図る）
- ② 拠点となるみどりを明記（都市公園・緑地・河川・農地など）
- ③ 個別施策を各地域ごとに記載  
⇒ 向上するみどりの機能を明記

## みどりの機能

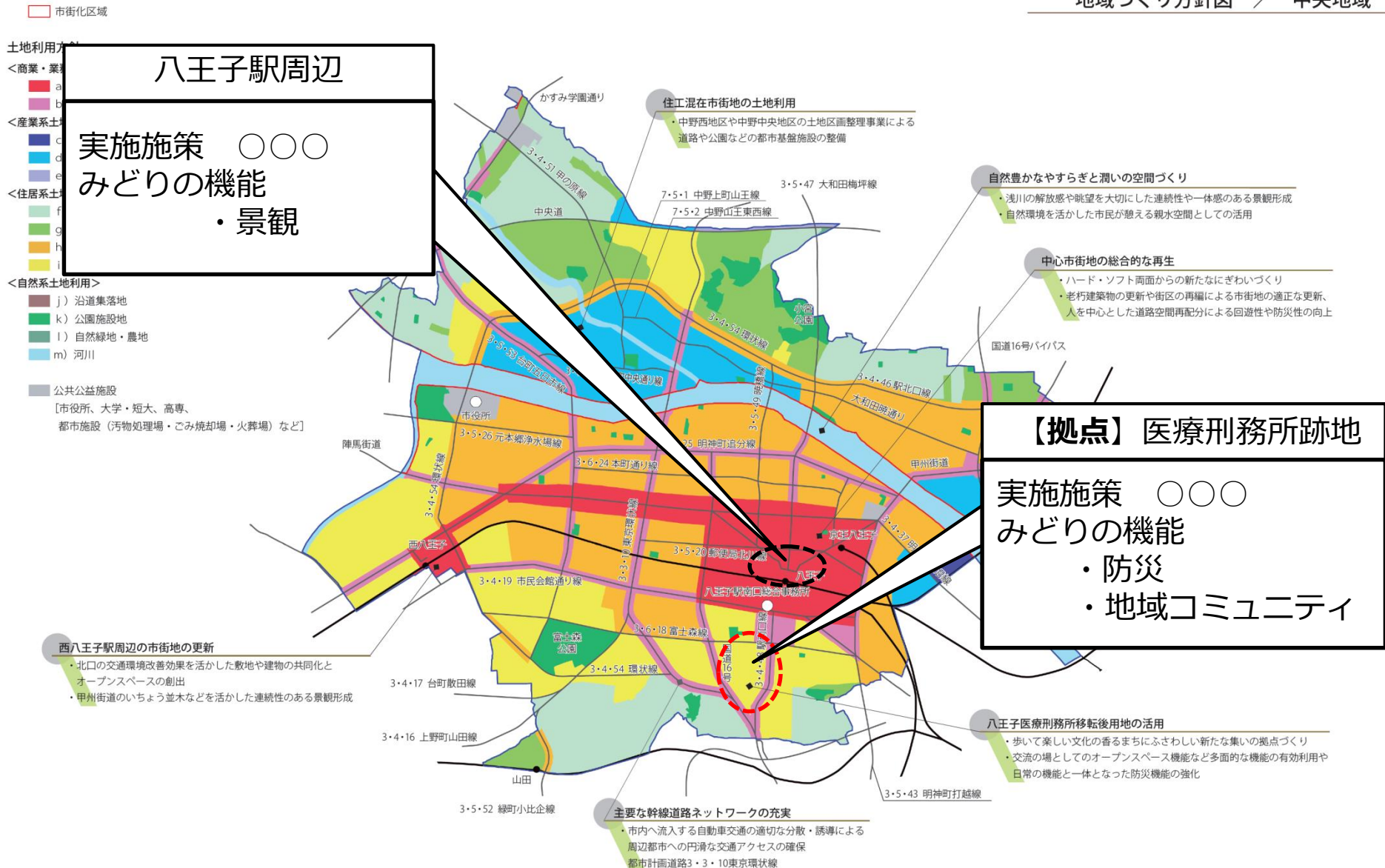


## (参考) 都市マス 地域づくりの方針 (中央地域)

### みどり

- ▼ 浅川と川口川は、災害時の延焼遮断等の多面的な機能を有する水辺の軸と位置づけ、自然環境を活かした市民が憩える親水空間として保全・活用を促進します。
- ▼ 甲州街道（国道 20 号）などは、災害時の延焼遮断等の多面的な機能を有するみどりの軸と位置づけ、中心市街地から浅川へのアクセスや、街路樹の保全と沿道民有地の緑化を促進します。
- ▼ 小宮公園と富士森公園は、多面的な機能を有するオープンスペース拠点として位置づけ、市民が憩えるレクリエーションの場として整備・有効利用を促進します。
- ▼ 中心拠点においては、市街地再開発事業等と連携して限られた空間を有効に活用し、都市景観と調和した質の高いみどりを創出します。
- ▼ 中心拠点周辺の住宅市街地においては、気軽に憩い安らげる身近なオープンスペースの確保を進めます。
- ▼ 街路樹や公園の維持管理については、道路アドプト制度や公園アドプト制度を活用して、市民との協働の取り組みを進めます。
- ▼ 子安神社（中野山王）や六本杉公園については、八王子湧水ネックレス構想の拠点として湧水の保全と水路の活用を図り、水辺の憩いの空間づくりとともに、湧水をつなげてまちの魅力を創出する取り組みを進めます。

# (イメージ図) 地域別方針 (中央地域)





# (参考) 医療刑務所跡地

【将来イメージ】 学びと交流が 次の 100 年をつくる

まちに開いた 新たな集いの拠点

## 八王子の歴史と未来をつなぐ結節点

■ 歴史・文化等の豊かな地域資源を活用し、八王子の歴史と未来をつなぐ結節点となる

- 八王子の歴史・文化等を知るための地域資源や必要な情報に容易に触れられる
- 地域資源の研究を深めたり、魅力を共有したり、地域ブランドの発信・継承の拠点となる
- 幅広い来訪者が楽しみながら、地域の未来を考える視点・きっかけを提供する

(拠点施設の利用イメージ例)

- ・ 時代・市民のニーズに応じた様々な特別展や体験・参加型のイベントを通じて、八王子の歴史・文化等を楽しみ学ぶ
- ・ 家族・友人で訪れ、歴史・文化等の様々な地域資源に触れ、未来を考えるきっかけとなる
- ・ 郷土資料を用いた専門的な調査研究ができたり、国指定の重要文化財を見たりできる
- ・ 施設利用者が、地域ブランドの発信・継承に向けて活動する



## まちの価値を創造するパブリックスペース

■ にぎわい・文化・憩い・防災・環境等のまちの価値を創造したり、そのための活動・思いが生まれる

- 日常生活における憩い・癒しの場やイベント等での非日常を提供するオープンスペースとなる
- 大規模災害時には、駅周辺滞留者等の一時的な避難スペースや災害支援活動の場となる
- 出会い・集いが交流に発展し、様々な主体によるまちの価値を高める活動を促進する
- 文化・自然に触れたり、健康づくりに取り組んだり、QOLを高める新しいライフスタイルが見つかる

(拠点施設の利用イメージ例)

- ・ 家族・友人で訪れ、オープンスペースで遊んだり、草花に触れたり、それぞれの憩いや学びの時間を過ごす
- ・ 地元産品の直売イベントや市民活動の発表・交流等、多様な主体によるイベントや情報発信がされている
- ・ 講座・イベント等の参加者同士が、誘い合って別の講座等に参加したり、新たな活動を始めたりする

## 誰でも気軽に立ち寄れる居場所空間

■ 何度も訪れるきっかけとなる学び・交流・憩いを提供し、家庭・職場(学校)と異なる居場所となる

- 特別な目的がなくても気軽に立ち寄り、何度も繰り返し訪れたいくなるような、多様な興味・関心に応える学び・交流を提供する
- 第三の居場所として、にぎわい・集いを促進し、新たな集いの拠点の形成に寄与する

(拠点施設の利用イメージ例)

- ・ 子ども連れでも一人でも気軽に、読書や展示等で文化に触れたり、みどり等の自然を感じたりしながら、心地良い時間を過ごす
- ・ 文化・生涯学習活動をしている・いないにかかわらず、様々な市民の来訪・滞在のきっかけとなるイベント等が開催されている
- ・ カフェ等の飲食スペースで憩いの時間を過ごしたり、交流を育んだりしている
- ・ 中高生や大学生が調べものやグループ討議に利用するほか、世代を超えて学ぶ機会・教える機会がある

## 新たな集いの拠点施設

■ 防災機能を持った、まちにつながる「みんなの公園」

■ 次の 100 年につなげる「歴史・郷土ミュージアム」

(現郷土資料館の機能を移転する新しい郷土資料館)

■ 学び・交流・集いを促進する「憩いライブラリ」

※「憩いライブラリ」については、今後進める、「公園」、「歴史・郷土ミュージアム」の具体化検討を踏まえ、実現性を精査していきます。

八王子医療刑務所移転後用地 活用計画 (H28.3)